

問 市で備えるものには、どのようなものがあるのか

答 食糧、防災倉庫、仮設のテント、仮設トイレ、給水タンク、給水用の浄水器、ボール、つるはし、スコップ、救護用品等である。16年度末で5万4千食を確保しており、不足分は今後、計画的に確保していきたい。



問 総額20億円の不用額があるにも関わらず、13億円の市債を起こしている点は、一般市民が理解しにくい部分であると思うが

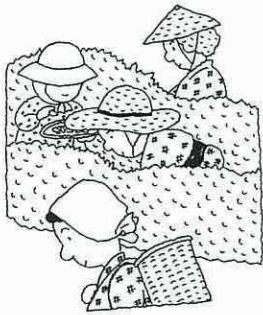
答 16年度予算は、平成15年度の未収金、未払い金を上乗せ計上した特殊な予算であった。未払い金の計上の時期的な問題があり、過大に計上した面があった。

問 合併特例債5億7千万円については、15年で償還することになっているが

答 合併後の10年間は、満額が交付税の対象となるが、11年目からは、5年間で漸減していくということになる。

問 牧之原畑総事業の中で防火用水的な利用についての負担金とは

答 水の少ない牧之原台地の防火用水機能を兼ねるということで、国が2分の1、関係自治体が2分の1を負担し、施設管理を行っている。



問 農地利用集積事業費補助金の実績を知りたい

答 認定農業者への貸地では56名、面積が916アール、補助金としては90万8千円が交付されている。農地保有合理化法人への貸地では50名、面積が1、007アール、補助金としては139万1千円である。借り手への補助としては、認定農業者35名、面積では1、053アール、補助金としては125万9千円で、合わせると358万円程になる。これに15年度未払い分が入って合計で519万5千円となる。

問 御前崎港伊豆海上高速航路促進事業補助金150万円は、事業としての実現性は低いと思うが、今後も補助していくのか

答 調査研究事業としては、3年を経過しており、17年度は、補助金を計上していない。3商工会が単独で調査検討を行っていくと聞いている。

問 白羽海岸の保全について、今後どういう取り組みをしていくのか

答 現地は確認しており、災害事業として対応していきたい。今後の保全については、陳情等を行っていく必要もあると考えている。



問 市営住宅の入居待ちはあるのか

答 浜岡地区は、入居待ちの状態である。御前崎地区は、老朽化もあってか薄原、広沢、大山の住宅を併せて10数戸の空き住宅がある。